

報告期間	ユーザー様名		SI名・指導者名
2006年3月1日(水)から 2006年3月31日(金)まで	X社		(株)ロジックジャパン 石田隆久
製品の内容、製品種類数、製品の単価(最高・平均・最低など) 自動車部品設計製造販売 製品数(3500種類)、部品点数(13000部品)			
生産形態、工程の要素 組み立て 機械加工 板金 プレス 溶接 塗装 メッキ 研磨 鋳物 鍛造 熱処理 実装、SMT 溶解 スリット 切断 溶断 成型 圧延 凝固 接着 食品加工 プラスチック加工 化学薬品 衣類(裁断・縫製・ホタ) 皮、ゴム、紙加工 織、編 印刷(除マニュアル等)・手書き 染色 エッチング その他()			
指導種類	新規導入 バージョンアップ 再導入 その他()		
今回指導回数	1回目～2回目		
TPICSバージョン	TPICS-X3.1 COMPILE 20060220		
オプション・DB	受注販売管理、平準化、納期調整、トランザクション集中処理、着手信号機 SQL		
出席者	取締役工場長(プロジェクトマネージャー)、生産管理部長、課長(プロジェクトリーダー)、担当、製造部長、営業購買課長		
今回の指導目的			
「これまでの経緯」			
AS400での生産管理システムを5-6年続けてきたが、所要量計算に7時間ほどかかり、計画サイクルを月3回旬単位に実施している。			
<ul style="list-style-type: none"> ・AS400が老朽化している為、生産管理システム全体をリニューアルしたい。 ・お客様のニーズに合わせて、計画サイクルを毎日に短縮したい。 ・仕掛品、材料在庫を削減して、お客様の納期に対しタイムリーな対応をしたい。 			
etc.			
でTPICSを選択した。			
「今月のテーマ」			
<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト編成とキックオフ ・プロジェクト推進日程計画作成と承認 ・生産管理システム成功要因の説明と普及活動 ・現状業務の確認とTPICSでの対応のあらし 			

解決すべき課題

「最重要課題」

- ・ 全ての作業の初工程にあるプレス工程が納入指示だけがシステムより出されている。
- ・ 製造計画や原材料は、現場での管理となっている。
- ・ 現場が作りやすい製造計画で生産し納入指示を累計進捗で消しこんでいる。
- ・ 各工程の生産負荷計算がされていない為、計画通りの生産が出来ていない。
- ・ 客先オーダー変動などに因り納入指示通り生産が出来ない為、毎朝推進担当が、優先順位を指示に走っている。

守れるプレス製造計画を TPICS でどこまで作れるか？

それに基づいて原材料（ロールや板材）をシステムで自動発注する。

- ・ 得意先からの支給品で計画がなく有償支給品がある。

計画外実績のプットで単価マスターより売り掛け相殺単価を持ち込む手段は？

ティーピクス研究所からのコメント： は、買掛けは購入欄と支給欄があるので相殺の作業が簡単ですが、売掛けには無いので、経理さんにやっていただくこととなります。

- ・ X社から加工外注さんへの支給品でメーカーより直納で有償支給品が多い。

単価マスターにはサプライヤーの単価しか持てないので、XX-SK の品目設定で商流と物流の分離が必要か？

ティーピクス研究所からのコメント： は、問題集に有る問題で、加工外注さんの受領書を部品サプライヤーさんから送ってもらい、それにより、社内で支給実績をインプットするのが良いと思います。

「来月の予定」

- ・ プロジェクト計画の見直しと詳細日程役割分担へのブレックダウン

- ・ 現状業務加-と新業務加-の完成

何がどう変わるか？

- ・ プレスのモデル職場を選定し、標準時間、段取り時間などを投入し、山崩しなど製造計画立案準備時間データは現場にしか存在しない。

- ・ 月次や原価、棚卸、決算、売掛け買掛けとのインターフェース調査など

原価は実績原価でなく標準原価を採用する。製造原価の提供はどこまでか？

- ・ 原材料発注など今回のシステム範囲の最終化

などなど